

The Record 2020

vol.722

January 1



The Record 2020.1 vol.722

新年のご挨拶

「第26回日本プロ音楽録音賞授賞式」開催

令和元年度「音の日」記念式典が開催

令和元年度文化庁実証事業「音楽権利情報検索ナビ」第3期公開中

I

January
2020

CONTENTS

2 新年のご挨拶

3 Monthly News Digest

特報

5 「第26回日本プロ音楽録音賞授賞式」
開催

7 令和元年度「音の日」記念式典が開催

8 令和元年度文化庁実証事業
「音楽権利情報検索ナビ」第3期公開中

9 Monthly Production Report

10 GOLD DISC

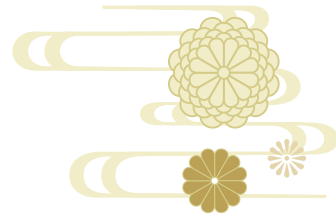
令和元年台風第19号等により被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

日本レコード協会は、このたびの台風により甚大な被害を受けた地域の皆様へのお見舞い・ご支援として、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、千葉県、長野県の各県自治体指定窓口を通じて義援金600万円(各県に100万円)を寄付いたしました。

被災地の一刻も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です



新時代を担うレコード産業として

一般社団法人日本レコード協会
会長 重村博文

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

時代が平成から令和となり歴史の大きな節目となった昨年は、国内の音楽配信売上においても大きな節目の年を迎えることとなりました。近年順調に成長を続けるストリーミングが市場をけん引し、2005年の音楽配信売上集計開始以来、初の6年連続プラス成長を達成する見込みです。

一方で、パッケージの生産実績は厳しい状況ながら微減の見込みと健闘し、世界1位のパッケージ大国として引き続きレコード産業を根幹で支える存在感を示しています。これにより音楽配信とパッケージのトータル売上は、昨年並みの3,000億円台をキープするものと予測しています。

世界の音楽市場は、全世界の音楽売上シェア約5割を占めるまでに至ったストリーミングの飛躍的な成長により、音楽配信とパッケージのトータル売上が2014年から4年連続プラス成長と好調が続いています。日本においても、パッケージ大国の強みに加え、世界的な潮流にのったストリーミングサービスの一層の活性化により音楽市場の拡大を図っていく必要があります。そのためには、レコード産業の成長を阻害する違法な音楽利用を撲滅するための活動に一層取り組む必要があります。

本年4月で開設8年目となる違法対策の専任組織「著作権保護・促進センター(CPPC)」では、悪質アップローダーを中心に違法な音楽ファイルの探索・削除要請を日々実施し、着実に成果を上げているものの、新たな課題も発生しています。若年層を中心に蔓延している無許諾音楽アプリの問題は、業界全体を揺るがす喫緊の課題として、CPPCにおけるアプリストアの監視および削除申請対応に留まらず、音楽関係団体、音楽配信サービス事業者、IFPIなど関係各所と連携した上で、より迅速で強力な対応を引き続き求めていきます。併せて、リーチサイト・リーチアプリ規制に関する著作権改正法案の一日も早い成立と施行を強く求めてまいります。

夏には56年ぶりの東京五輪・パラリンピックの開催を控え、文化の祭典としても世界中から注目が集まるとともに、日本の音楽を国際的に紹介するチャンスになります。また、昨年のラグビーW杯でも話題になりましたが、スポーツと音楽は密接な結びつきがあり、今大会に際しても選手をはじめ日本全体を勇気づけるような、時代を担う楽曲やスターの誕生が期待されます。

当協会はレコード産業を代表する団体として、引き続き音楽文化の発展と産業の振興に貢献してまいりますので、格段のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

Monthly News Digest

II/8 Friday

MPAにてISRC説明会を開催

昨年11月8日、東京都港区の日本音楽出版協会(MPA)会議室にて、MPA著作権隣接権委員および著作権隣接権研究会を対象に、当協会 企画・広報部がISRC説明会を開催した。

この説明会は、音楽配信事業者の楽曲管理等での活用が進んでいるISRC(International Standard Recording Code、国際標準レコーディングコード)について、国内のみならず海外においてもその必要性や重要性が高まっている状況から、MPAより要請を受けて定期的に行われているものである。

当日は、ISRCの基本的なルールや利活用方法、ISRCを取り巻く現状について説明が行われ、二次使用料の実績分配における活用や、現在、文化庁実証事業として取り組みを進めている権利情報の集約化に関する概要説明も行われた。

出席者からは、具体的なISRC付番方法や二次使用料分配方法に関する実務的な質問が寄せられた。



II/19 Tuesday

明治学院大学にて出張講義を実施

昨年11月19日、神奈川県横浜市にある明治学院大学横浜キャンパスにおいて、当協会著作権・契約部 越坂部課長補佐が「レコードと著作権」と題した講義を行った。

昨年に引き続き2度目の実施となる本講義は、経済学部経営学科1年生を対象に開講されている「ビジネスのための法律2」の1コマで、約200名が出席した。

講義では、レコード産業の変遷や音楽ビジネスの仕組み、音楽ができるまでの工程などを説明したあと、日本や海外の音楽市場概況について説明を行った。続いて、音楽著作権・著作権隣接権の集中管理の概要、当協会の行う指定管理団体としての業務、法的措置や技術的対策を含めた違法対策業務について講義を行い、最後に、今後の著作権法改正に伴う争点についても解説を行った。



II/20 Wednesday

IFPI中央理事会開催

昨年11月20日、インド・ニューデリーにおいてIFPI(国際レコード産業連盟)中央理事会が開催された。

中央理事会は、IFPIフランス・ムーア会

長を議長とし、メジャーレーベル代表、インディーレーベル代表、主要国のレコード産業団体代表らによって構成される会議であり、今回はIFPI事務局を含め21名が出席した。当協会からは会長代理として畑理事・事務局長が出席した。

2018年のインド音楽市場は世界第15位であったが、通信料金と機器販売価格が安価なため4億台以上のスマートフォンが普及しており、デジタル音楽市場の飛躍的成長に大きな期待が寄せられている。その一方で、公衆伝達に係る著作権制度の課題も指摘されていることから、この度は中央理事会とあわせてインド政府関係者とのミーティングも開催された。



中央理事会においては、2019年第3四半期までの全世界音楽セールスの速報値に加え、フォーマット別、地域・国別等の市場分析がIFPI事務局から報告された。2019年の主要マーケットは、ストリーミング収入の更なる増加により引き続き好調であり、2018年と同等以上の伸びが見込まれる。

2019年4月にEUで成立した「デジタル単一市場における著作権指令」については、EU加盟各国において国内法での対応が検討されている。ユーザーアップロード型オンライン共有サービス事業者の法的責任を明確化し、いわゆる「バリューギャップ」問題を解決に導く新たな法的規範となり得ることから、中央理事会では今後も加盟各国の対応状況を注視すると

もに、他地域でも同様の法改正の働きかけを進める方針が確認された。

また、日本からは、今後予定されているリーチサイト/アプリ規制に係る著作権法改正、Music FMに代表される無許諾スマホアプリの問題、日米貿易協定に関する今後の著作権課題、レコード演奏権の働きかけに関する進捗等について説明した。特に無許諾アプリについては、日本国内のストリーミングサービス普及における大きな障害となっていることから、IFPIとともにRIAA(米国レコード協会)からも問題の解決に協力を得られることとなった。次回は、今年5月に開催される予定である。

II/29 Friday

渡辺高等学院にて出張授業 「音楽と著作権」を実施

昨年11月29日、東京都目黒区の渡辺高等学院にて、当協会企画・広報部金澤部員が「音楽と著作権」をテーマに講義を行った。同校は芸能プロダクションのワタナベエンターテインメントが運営するワタナベエデュケーショングループによる通信制高校サポート校である。本授業は、エンターテインメントに関するレッスンを受ける学生たちが、音楽業界を支える裏方の仕事や著作権への理解を深めることを目的に実施された。

講義では、音楽が制作される過程やレコード会社の仕事について、映像を交えて紹介。さらに、当協会の事業や国内レコード市場について解説したほか、著作権およびエルマークについて説明を行った。

当日は、ヴォーカリスト、ミュージシャ

ンをはじめ、ダンサー、俳優など芸能界や、業界に携わる仕事をを目指す学生約60名が聴講。受講後のアンケートでは「著作権について詳しく知ることができてよかった」「レコード会社やレコード協会の仕事について知れて視野が広がった」などの感想が寄せられた。



当協会事務局人事

■昇格（1月1日付）

荻部 好雄
著作権・契約部 副部長
(前:著作権・契約部 課長)

■異動（1月1日付）

楠本 靖
分配・業務部 部長
(前:著作権・契約部 部長)

Monthly
News
Digest

「第26回日本プロ音楽録音賞授賞式」開催

昨年12月6日、東京都千代田区のTOKYO FMホールにおいて、一般社団法人日本オーディオ協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会、特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会、一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN、および当協会の主催、経済産業省の後援による「第26回日本プロ音楽録音賞授賞式」が開催された。

本賞は、音創りを通じて音楽とオーディオ文化の向上に努める録音エンジニアの感性と技術を評価し、音楽制作および録音に対する一般ユーザーの認識を高めるとともに、音楽とオーディオ産業のソフト分野における一層の技術の向上ならびに録音エンジニアの地位の確立を図ることを目的としている。

第26回目を迎えた今年は応募総数160作品の中から審査委員会による厳正な審査の結果、各部門から計12作品の優秀作品、審査員特別賞1作品、ベストパフォーマンス賞1作品、ニュー・プロミネントマスター賞2作品、およびアナログディスク特別賞1作品が選ばれた。当日は優秀作品の表彰と各部門の最優秀作品およびエンジニアの発表、表彰が行われた。なお、アナログディスク特別賞は、近年アナログレコードおよびプレーヤーが若者中心に注目されオーディオ業界復活につながっていることから、本年より新設された。

受賞作品一覧(敬称略)

CD部門「クラシック、ジャズ、フュージョン」

最優秀賞



「ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番/
ピアノ・ソナタ第2番」(COCQ-85458)より
「ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第3番より第3楽章」
反田恭平(ピアノ)
アレクサンドル・スラドコフスキー(指揮)
ロシア・ナショナル管弦楽団
発売元:日本コロムビア(株)

- 塩澤 利安(ミキシング・エンジニア) 日本コロムビア(株)
- 佐藤 洋(マスタリング・エンジニア) 日本コロムビア(株)

優秀賞

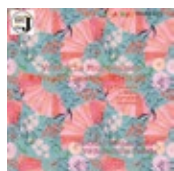


「Pioggia」(CHYR-001)より
「Pioggia」 Hitoshi Nakajima
発売元:(株)ディスクユニオン

- 今関 邦裕(ミキシング&マスタリング・エンジニア) (株)サウンド・シティ
- 青木 礼門(アシスタント・エンジニア) (株)サウンド・シティ

ハイレゾリューション部門「クラシック、ジャズ、フュージョン」

最優秀賞



「ViVa The Four Seasons(A.Vivaldi Concerto
NO-1_NO-04)」より
「Summer MOV-03」 UNAMAS Strings Sextet
発売元:(有)沢口音楽工房 UNAMASレーベル
配信元:e-onkyo music、mora
フォーマット:192kHz/24bit 5.1ch

- 沢口 真生(ミキシング&マスタリング・エンジニア) (有)沢口音楽工房
- 伊藤 仁(システム・エンジニア) (株)シンタックスジャパン
- 宮下 清孝(システム・エンジニア) (株)JION(慈音)

優秀賞



「Orb」より
「Lenna」 Miyu Hosoi
発売元:Salvaged Tapes
配信元:OTOTOY
フォーマット:96kHz/24bit 5.0ch (オリジナル22.0ch)

- 蓮尾 美沙希(ミキシング・エンジニア) (株)WOWOW
- 葛西 敏彦(ミキシング・エンジニア) studio ATLIO / Oasis Sound Design Inc.
- 久保 二郎(システム・エンジニア) (株)アコースティックフィールド

CD部門「ポップス、歌謡曲」

最優秀賞



<ミュージックソムリエ協会推薦>
「POP VIRUS」(VICL-65085)より
「Pop Virus」 星野源
発売元:(株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

- 渡辺 省二郎(ミキシング・エンジニア) (株)レインボーエンタテインメント
- 内田 孝弘(マスタリング・エンジニア) (株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

優秀賞

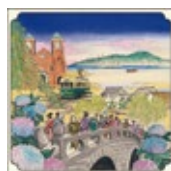


「FUTURE」(RZCD-86904)より
「ZERO GRAVITY」 I DON'T LIKE MONDAYS.
発売元:エイベックス・エンタテインメント(株)

- 安達 義規(ミキシング・エンジニア) (株)ミキサーズラボ
- 酒井 秀和(マスタリング・エンジニア) (株)ソニー・ミュージックソリューションズ
- 近藤 麻衣(アシスタント・エンジニア) (株)スキップファクトリー ランドマークスタジオ
- 後藤 真太郎(アシスタント・エンジニア) (株)ミキサーズラボ

ハイレゾリューション部門「ポップス、歌謡曲」

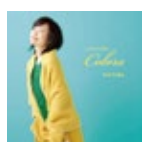
最優秀賞



<e-onkyo music推薦>
「新自分風土記I~望郷篇~」より
「長崎小夜曲」 さだまさし
発売元:(株)JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
配信元:e-onkyo music、mora
フォーマット:96kHz/24bit 2ch

- 三浦 克浩(ミキシング・エンジニア) (有)ジェニュイン
- 吉良 武男(マスタリング・エンジニア) (株)テイチクエンタテインメント
- 中内 茂治(レコーディング・エンジニア) (株)音響ハウス

優秀賞



<e-onkyo music推薦>
「camomile colors」より
「Just When I Needed You Most」 藤田恵美
発売元:HD Impression
配信元:e-onkyo music、mora
フォーマット:192kHz/24bit 2ch

- 阿部 哲也(ミキシング&マスタリング・エンジニア) HD Impression
- 内野 太亮(セカンド・エンジニア) (株)音響ハウス
- 金井 隆(サウンド・クオリティ・エンジニア) かないまる

放送部門「2chステレオ」

優秀賞

第60回 輝く!日本レコード大賞

「第60回輝く!日本レコード大賞」より
「アイノカタチ feat.HIDE
(GReeeeen)」 MISIA

TBS HDTV stereo
2018年12月30日放送

- 森 和哉(ミキシング・エンジニア) (株)TBSテレビ
- 相馬 敦(セカンド・エンジニア) (株)TBSテクス
- 中村 全希(セカンド・エンジニア) (株)TBSテレビ
- 田中 聖二(セカンド・エンジニア) (株)毎日放送

優秀賞



「第69回NHK紅白歌合戦」より
「アイノカタチ feat.HIDE(GReeeeen) ~
つつみ込むように…」 MISIA

日本放送協会 HDTV stereo
2018年12月31日放送

- 永田 隆信(ミキシング・エンジニア) 日本放送協会
- 吉田 英人(セカンド・エンジニア) 日本放送協会
- 志村 宏(セカンド・エンジニア) 日本放送協会
- 山田 美慧(フロア・チーフ) 日本放送協会

審査員特別賞



「オペラ・ファンタスティカ/宮崎国際音楽祭
歌劇「ボエーム」」より
「歌劇「ボエーム」第2幕」 指揮: 広上淳一
宮崎国際音楽祭管弦楽団

日本放送協会 FM stereo
2019年8月30日放送

- 篠 なほ子(ミキシング・エンジニア) (株)ネオテック
- 山縣 淳一(セカンド・エンジニア) (株)NHKテクノロジーズ

ベストパフォーマー賞



「森羅十二象」(ONL-11)より「モンゴル草原」

岡林 信康

発売元: (株)ディスクユニオン

アナログディスク特別賞



「MIXER'S LAB SOUND SERIES Vol.3」
(SSAR-036~037)より
「モーニン」 角田健一ビッグバンド

発売元: (株)ミキサーズラボ 30cm 33回転

- 北村 勝敏(カッティング・エンジニア)
(株)ミキサーズラボ/ワーナーミュージック・マスタリング

放送部門「マルチchサラウンド」

最優秀賞



「SHIBUYA NOTE Presents
Nulbarich -A STORY-」より
「Super Sonic」 Nulbarich

日本放送協会 4K UHDTV 5.1ch
2019年9月23日放送

- 柳谷 智章(ミキシング・エンジニア) 日本放送協会
- 桐原 麻美(フロア・チーフ) 日本放送協会

優秀賞



「プレミアムシアター」より
「ラロ作曲「スペイン交響曲二短調
作品21第5楽章」」
ヴァイオリン: クリスティアン・テツラフ
指揮: 井上道義 NHK交響楽団

日本放送協会 HDTV 5.0ch
2018年10月22日放送

- 山縣 淳一(ミキシング・エンジニア) (株)NHKテクノロジーズ
- 矢鳥 諭(セカンド・エンジニア) (株)ネオテック
- 篠 なほ子(セカンド・エンジニア) (株)ネオテック
- 満尾 智子(セカンド・エンジニア) 日本放送協会

ニュー・プロミネントマスター賞



「涙と祈り(Tears and Prayers)」より
「エレジー(Elegy for solo marimba)」 名倉誠人

発売元: (株)オクタヴィア・レコード
フォーマット: 96kHz/24bit
5.0ch (オリジナル 9.0ch)

- 入交 英雄(ミキシング&マスタリング・エンジニア)
(株)WOWOW



「Orb」より
「Lenna」 Miyu Hosoi

発売元: Salvaged Tapes
フォーマット: 96kHz/24bit
5.0ch (オリジナル 22.0ch)

- 蓮尾 美沙希(ミキシング・エンジニア) (株) WOWOW



令和元年度「音の日」記念式典が開催

昨年12月6日、東京都千代田区のFMセンタービルにて、「音の日」の記念式典が日本オーディオ協会の主催で開催された。

「音の日」は、トーマス・エジソンが1877年に世界で初めて蓄音機「フォノグラフ」を発明した日として、日本オーディオ協会、日本レコード協会、日本音楽スタジオ協会などにより、音と音楽文化の重要性を広く認識してもらおうと共にオーディオおよび音楽文化・産業の一層の発展に寄与することを目的として、1994年に定めたもの。この記念式典では、今回で6回目となる「学生の制作する音楽録音作品コンテスト」の授賞式や「音の日」特別講演が行われた。各プログラムの内容は以下の通り。

第6回「学生の制作する音楽録音作品コンテスト」授賞式

応募総数28作品から審査員による厳正なる審査を経て、以下の作品が受賞されました。

<最優秀賞>

作品名: 絶滅種の側から(読み: ぜつめつしゅのがわから)
5.1ch 96kHz 24bit

- 田中 克 さん(東京藝術大学大学院 音楽研究科 研究生課程)
- 増田 義基 さん(東京藝術大学 音楽学部 音楽環境創造科 4年)

<優秀企画賞>

作品名: pm 04:29(読み: पीएम ゼロヨンニークュウ)
2ch 44.1kHz 16bit

- 田島 俊貴 さん(九州大学大学院 芸術工学府 芸術工学専攻 コミュニケーションデザイン科学コース 修士2年)

<優秀音楽作品賞>

作品名: Frank Martin/フルートとピアノのためのバラード
5ch 96kHz 24bit

- 福井 楓菜 さん(名古屋芸術大学 音楽学部 音楽文化創造学科 サウンド・メディアコース 4年)

<優秀録音技術賞>

作品名: All That Jazz
5.1ch 96kHz 24bit

- 岩本 双葉 さん(洗足学園音楽大学 音楽・音響デザインコース4年)



【審査員】

亀川 徹 氏	東京藝術大学 音楽学部
長江 和哉 氏	名古屋芸術大学 芸術学部
柿崎 景二 氏	尚美学園大学 芸術情報学部
我妻 拓 氏	日本工学院専門学校
上埜 嘉雄 氏	日本大学 芸術学部/ Audio Engineering Society 日本支部
見上 陽一郎 氏	音響芸術専門学校
千葉 精一 氏	日本オーディオ協会

(順不同)

特別講演「オーディオの未来を語る」

CD誕生から37年が経ち、ハイレゾのきっかけとなったSACD、DVD-Audioの登場からも20年が経過。試聴スタイルはスピーカー、アンプといったコンポーネントだけではなく、ヘッドフォン、イヤフォンを中心としたポータブルオーディオに変化し、音楽メディアも光ディスクに加えストリーミング配信への移行が進行中である。講演では、昨今レコードやカセットテープが復権するなど多様化するオーディオ文化の今後の展望について熱く語られた。

【出演者】

- 生形 三郎 氏 (オーディオ評論家)
- 岡田 卓也 氏 (e☆イヤホン副社長)
- 小林 久 氏 (アスキーブランド総編集長)
- 押野 由宇 氏 (音元出版) <進行兼任>



令和元年度文化庁実証事業 「音楽権利情報検索ナビ」第3期公開中



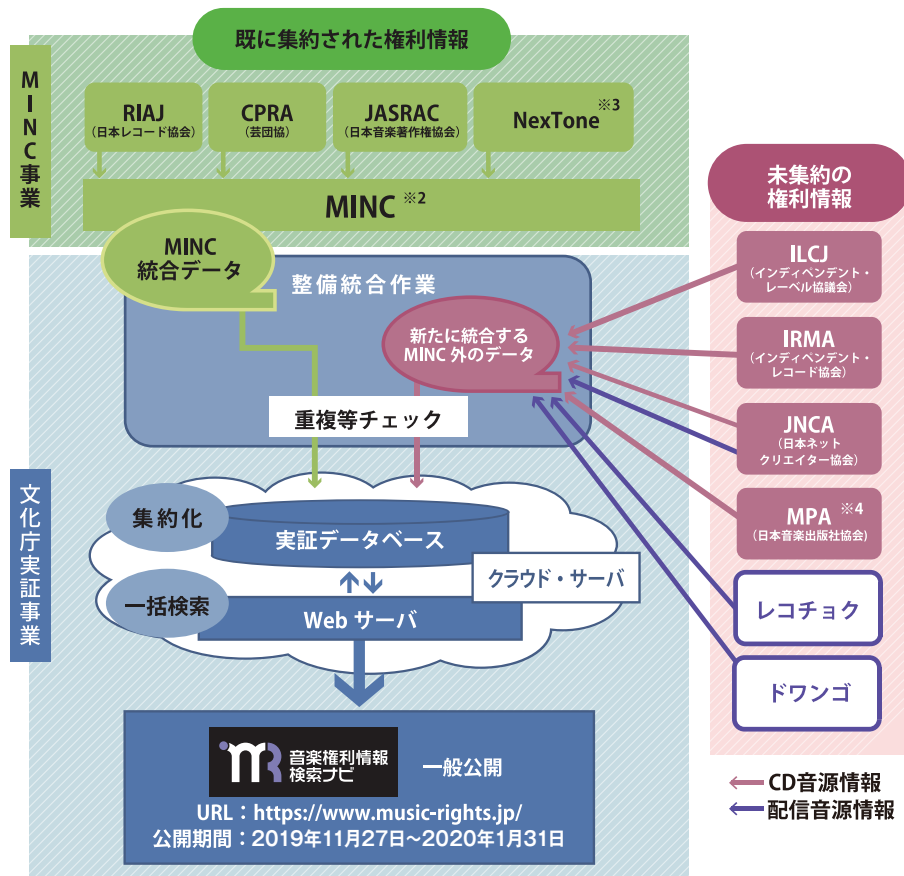
当協会を含む音楽関係団体で構成する権利情報集約化等協議会(※1)は、令和元年度文化庁「コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業」の一環として、音楽著作物の権利情報の一括検索サイト「音楽権利情報検索ナビ」(<https://www.music-rights.jp/>)を2019年11月27日から2020年1月31日(予定)まで公開している。

文化庁は、コンテンツの権利処理の円滑化を目的として、平成29年度から音楽分野の権利情報を一括検索できるプラットフォーム構築の実証事業に取り組んでおり、今回は第3期となる。本実証事業では、当協議会に参加する各団体・事業者が独自に保有するCD商品およびデジタル配信された音源のデータを集約し、インディーズ系レーベルやネット系クリエイターを含む多様なCD商品、楽曲、音源に係る権利情報等をワンストップで検索できるデータベースを構築。第3期となる今回の主な変更点は以下の通り。

- 公開期間を約2か月間に拡大(公開期間中に最新情報の追加等を実施)
- 11月27日にCD商品情報は約52万件/628万曲を公開(前期比約2万件/14万曲増)
- 配信音源情報は前期に比して約220万曲を追加し、「ボカロ」や「東方系」を含む約257万曲の情報を公開
- 検索したCD商品や作品の権利情報の再確認を容易にするため、「マイページ」を開設し、「お気に入り」に登録したCD商品等を当該ページ上で確認できる機能を追加

本年度は、この「音楽権利情報検索ナビ」を通じた実証実験の最終年度となる。

権利情報集約化等協議会では、本プラットフォームの実用化や、他の分野の著作物を含めた一元的な権利情報プラットフォーム構築につながるよう、公開終了後に利用状況の分析や課題検討などを実施する予定。



※1 権利情報集約化等協議会

【座長】末吉 互(KTS法律事務所・弁護士)
 【委員】荒川 祐二(株式会社NexTone 代表取締役COO)、伊澤 一雅(一般社団法人日本音楽著作権協会 常任理事)、三田 あけみ(ミュージック・ジェイシス協議会 事務局)、椎名 和夫(公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 実演家著作権隣接権センターCPRA 運営委員)、高嶋裕彦(一般社団法人日本音楽出版社協会 専務理事)、長野 文夫(特定非営利活動法人インディペンデント・レコード協会 理事長)、仁平淳宏(一般社団法人日本ネットクリエイター協会 理事)、畑 陽一郎(一般社団法人日本レコード協会 理事・事務局長)、宮城島 隆弘(インディペンデント・レコード協会 理事・事務局長)

【実施事業者】渡邊 博一(株式会社ジャパニミュージックデータ 代表取締役社長)

【事務局】五味 健太郎(株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門)

※2 MINC(ミュージック・ジェイシス協議会)

デジタル時代における音楽著作物等に係る権利処理円滑化等のため、1999年にJASRAC、芸団協CPRA及びRIAJの3団体で設立した協議会。各団体が提供する商品データ、作品データ、実演家データ等を集約・統合した「MUSIC FOREST(音楽の森)」サイトで公開中。

※3 2017年10月よりNexToneもMINCに加盟、2019年10月より統合データの公開開始。

※4 MPAは原盤権利者の団体として参加。RIAJ非加盟社が流通するCD音源情報を提供。

Monthly Production Report 2019年11月度レコード生産実績

11月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）の生産実績は、数量で前年同月比69%の1,295万枚・巻、金額で同84%の181億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比69%の992万枚・巻、金額で同82%の125億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比67%の302万枚・巻、金額で同89%の56億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	11月実績						2019年1月~2019年11月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	1	0	3%	1	0	3%	39	0	63%	28	0	29%
	洋	0	0	-	0	0	-	1	0	-	0	0	-
	計	1	0	3%	1	0	3%	40	0	65%	28	0	29%
12cmCD シングル	邦	2,965	30	68%	2,652	21	75%	40,435	32	88%	33,785	24	91%
	洋	2	0	282%	2	0	345%	836	1	2582%	695	0	2234%
	計	2,967	30	68%	2,654	21	76%	41,271	33	90%	34,480	25	92%
シングル 計	邦	2,966	30	68%	2,653	21	75%	40,474	32	88%	33,813	24	90%
	洋	2	0	284%	2	0	347%	838	1	2586%	695	0	2234%
	計	2,968	30	68%	2,655	21	75%	41,311	33	90%	34,508	25	92%
12cmCD アルバム	邦	5,110	51	65%	7,919	63	83%	69,876	56	105%	90,388	64	101%
	洋	1,587	16	82%	1,551	12	83%	12,396	10	90%	12,879	9	90%
	計	6,696	67	69%	9,469	76	83%	82,272	66	103%	103,267	73	100%
CD計	邦	8,075	81	66%	10,572	85	81%	110,350	88	98%	124,201	88	98%
	洋	1,588	16	82%	1,552	12	83%	13,233	11	96%	13,574	10	94%
	計	9,664	97	68%	12,124	97	81%	123,583	99	98%	137,775	98	98%
アナログ ディスク	邦	43	0	122%	91	1	112%	524	0	106%	1,004	1	101%
	洋	151	2	159%	174	1	119%	600	0	108%	977	1	101%
	計	195	2	149%	265	2	116%	1,124	1	107%	1,981	1	101%
カセット テープ	邦	24	0	90%	21	0	93%	299	0	73%	268	0	77%
	洋	0	0	50%	1	0	43%	6	0	164%	10	0	225%
	計	24	0	89%	22	0	91%	304	0	74%	278	0	78%
その他	邦	13	0	45%	24	0	49%	121	0	96%	224	0	108%
	洋	28	0	43%	50	0	45%	236	0	75%	428	0	70%
	計	41	0	43%	74	1	46%	357	0	81%	651	0	79%
合計	邦	8,155	82	66%	10,708	86	81%	111,293	89	98%	125,697	89	98%
	洋	1,768	18	85%	1,777	14	83%	14,075	11	96%	14,988	11	94%
	計	9,923	100	69%	12,485	100	82%	125,368	100	98%	140,684	100	98%

音楽ビデオ

	11月実績						2019年1月~2019年11月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	2,226	74	71%	2,942	52	81%	27,130	66	72%	32,077	49	79%
	洋	27	1	48%	43	1	57%	566	1	135%	971	1	206%
	計	2,252	75	70%	2,984	53	80%	27,696	67	72%	33,048	50	80%
ブルーレイ ディスク	邦	762	25	61%	2,625	47	110%	13,349	32	109%	32,156	49	101%
	洋	8	0	20%	17	0	7%	193	0	95%	698	1	127%
	計	770	25	60%	2,642	47	101%	13,542	33	109%	32,854	50	102%
テープ・その他	計	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%
合計	邦	2,988	99	68%	5,567	99	92%	40,479	98	81%	64,233	97	89%
	洋	35	1	36%	60	1	20%	760	2	122%	1,669	3	164%
	計	3,022	100	67%	5,627	100	89%	41,238	100	81%	65,902	100	90%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	11月実績						2019年1月~2019年11月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	9,923	77	69%	12,485	69	82%	125,368	75	98%	140,684	68	98%	
音楽ビデオ計	3,022	23	67%	5,627	31	89%	41,238	25	81%	65,902	32	90%	
合計	邦	11,143	86	67%	16,275	90	85%	151,772	91	93%	189,930	92	95%
	洋	1,803	14	82%	1,837	10	75%	14,835	9	97%	16,657	8	98%
	計	12,946	100	69%	18,112	100	84%	166,607	100	93%	206,587	100	95%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	11月実績						2019年1月~2019年11月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	4,457	65	78%	5,000	45	78%	52,853	66	79%	59,851	46	83%
ブルーレイディスク	2,399	35	102%	6,132	55	123%	26,817	34	117%	69,917	54	109%
テープ・その他	0	0	-	0	0	-	0	0	38%	0	0	27%
合計	6,856	100	85%	11,132	100	98%	79,670	100	89%	129,769	100	95%

オーディオ/ビデオレコード合計

	11月実績						2019年1月~2019年11月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	9,923	59	69%	12,485	53	82%	125,368	61	98%	140,684	52	98%
ビデオレコード計	6,856	41	85%	11,132	47	98%	79,670	39	89%	129,769	48	95%
合計	16,779	100	75%	23,618	100	88%	205,038	100	94%	270,453	100	96%

備考 1.本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
3.オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

シングル | 邦楽

トリプル・プラチナ	命は美しい	乃木坂46	2015.03.18	ソニー・ミュージックレーベルズ
ゴールド	初恋至上主義	NMB48	2019.11.06	よしもとミュージック (laugh out loud! records)
	友よ	関ジャニ∞	2019.11.27	ジェイ・ストーム (インフィニティ・レコーズ)
	Edge of Days	Kis-My-Ft2	2019.11.13	エイベックス・エンタテインメント
	唇スカーレット	山内 惠介	2019.03.06	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

アルバム | 邦楽

ミリオン	Singles 2000	中島 みゆき	2002.04.17	ヤマハミュージックコミュニケーションズ
プラチナ	Traveler	Official髭男dism	2019.10.09	ポニーキャニオン
ゴールド	THE RIOT	THE RAMPAGE from EXILE TRIBE	2019.10.30	エイベックス・エンタテインメント
	ニュートンの林檎	椎名 林檎	2019.11.13	ユニバーサル ミュージック
	&TWICE	TWICE	2019.11.20	ワーナーミュージック・ジャパン
	Bad Ass Temple Funky Sounds	Bad Ass Temple	2019.11.27	キングレコード
	ラブとポップ~大人になっても忘れられない歌がある~mixed by DJ和	ヴァリアス	2019.08.07	ソニー・ミュージックレーベルズ

アルバム | 洋楽

ゴールド	アナと雪の女王2 (オリジナル・サウンドトラック)	ヴァリアス・アーティスト	2019.11.22	ユニバーサル ミュージック
------	---------------------------	--------------	------------	---------------

※日付は発売日

有料音楽配信

シングルトラック | 邦楽

トリプル・プラチナ	馬と鹿	米津玄師	2019.08.12	ソニー・ミュージックレーベルズ
ダブル・プラチナ	儂くも永久のカナン	UVERworld	2008.11.19	ソニー・ミュージックレーベルズ
	バブリカ	Foorin	2018.08.13	ソニー・ミュージックレーベルズ
プラチナ	丸ノ内サディスティック	椎名 林檎	2006.02.01	ユニバーサル ミュージック
ゴールド	イエスタデイ	Official髭男dism	2019.09.11	ポニーキャニオン
	飛行艇	King Gnu	2019.08.09	ソニー・ミュージックレーベルズ
	花束のかわりにメロディーを	清水 翔太	2015.10.28	ソニー・ミュージックレーベルズ
	ヒプノシスマイク -Division Rap Battle-	Division All Stars	2017.11.03	キングレコード
	Hello new me	浜崎 あゆみ	2014.05.14	エイベックス・エンタテインメント
	sky's the limit	平田 志穂子	2011.11.23	アニプレックス
	兵、走る	B'z	2019.06.19	バーミリオンレコード
	虹	福山 雅治	2010.11.17	ユニバーサル ミュージック
	ドーナツホール (COVER)	米津玄師	2014.04.23	ユニバーサル ミュージック
	砂の惑星 (+初音ミク)	米津玄師	2017.11.01	ソニー・ミュージックレーベルズ
大丈夫	RADWIMPS	2019.11.05	ユニバーサル ミュージック	

※日付は配信開始日

認定基準一覧 音楽ソフト(アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた@、シングルトラック・アルバム)共通

名称	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

基準単位:音楽ソフト・枚、配信、DL(ダウンロード数)

備考 1. 着うた@のみダブル・プラチナ以上を顕彰

2. 「着うた@」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

編集後記

去年は電子決済サービスが盛り上がり、「キャッシュレス元年」ともいわれました。私も意識せずに現金を持たない生活にシフトしていて、少しの遠出ならスマートEXで新幹線を即時予約、スタバでアプリから事前オーダーしたコーヒーを受け取り乗車、現地はスマホとクレジットカード1枚で過ごす、という日もありました。音楽フェスでは飲食ブース含めキャッシュレス化が進み、電子マネーでドリンク代が支払えるライブハウスも増えた気がします。「現金の方が支払った重みを感じ無駄遣いが減るのでは」という思いもありましたが、たまに受け取り忘れてしまうレシートで管理するよりも履歴が確実に残るので、ものぐさな私には合っているかもしれません。ただし、ふと入ったごはん屋さんが現金扱いのみだったためほろ酔いのまま銀行に駆け込んだことも…。何事も保険は必要です。

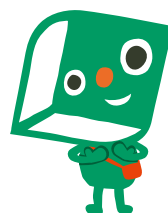
本年もよろしくお願ひ申し上げます。(M)

THE RECORD No.722 2020年1月号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文
編集人 原 康晴
発行日 2020年1月16日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒105-0001
東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313
URL:<https://www.riaj.or.jp/>

編集協力 株式会社金羊社 / ヤマトカウンスル



エルマークキャラクター
エルマーくん

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら

当協会公式サイト(URL:<https://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せください。